

# 平成20年度予算概算要求の重点事項

## 目 次

1. 平成20年度 予算概算要求の基本方針 .....	P. 1
2. 新規要求事業 .....	P. 3
3. 完了(供用)事業 .....	P. 3
4. 予算概算要求のポイント .....	P. 4
. 都市・住宅関係予算 .....	P. 4
. 治水関係予算 .....	P. 8
. 道路関係予算 .....	P.13
. 港湾空港関係予算 .....	P.20
. 営繕関係予算 .....	P.26

## 1. 平成20年度 予算概算要求の基本方針

近畿地方では、8月2日の関西国際空港第二滑走路の供用開始や大手家電メーカーの臨海部への工場立地など、近畿全体の持続的な発展に対する期待が高まっています。近畿の景気は、設備投資、個人消費ともに増加傾向にあり、拡大を続けていますが、長期的にみれば近畿経済の対全国シェアは徐々に低下しているのが現状です。

近畿地方の社会資本の状況を見ると、環状道路ネットワークは、現在もなお調査中の区間が存在するなど、要所要所で途切れているのが現状です。このため、貨物の輸送にあたっては都市部を通過しなければならず、渋滞が慢性化し、その影響による経済損失額は年間2700億円にもおよび、物流コストを押し上げています。

また、日本の港湾は、大型化が進むコンテナ船が接岸できる岸壁の整備がアジア諸港(釜山港、上海港等)より遅れており、アジア諸港の中で相対的にその地位を低下させています。そのため、日本の港湾に欧米航路等の大型船が寄港できず、アジア諸港において大型船に積み換えられる貨物(トランシップ貨物)が増加しています。そのことが、わが国の物流に要するコストや時間(リードタイム)の増大、ひいては、わが国の産業の競争力の低下に繋がっており、大きな経済損失を招いています。

近年、地震・津波・台風など大規模な自然災害が世界各地で頻発しています。近畿地方においても、平成16年台風23号による河川の氾濫や土砂災害等大きな被害を受けています。また、近い将来高い確率で発生が予想されている東南海・南海地震では、近畿地方の全域にわたり強い揺れを生じるとともに、大規模な津波が紀伊半島から大阪湾にかけて沿岸部を襲うなど、広い範囲で大きな被害が想定されています。

折しも、アメリカでの橋の崩落事故にみられるように、我が国においても、高度経済成長期を中心に整備されてきた社会資本が順次、老朽化していく中で、予防保全的な維持管理を含め、施設の管理が非常に重要となっています。

近畿には独自の歴史的文化遺産、自然環境、産業・経済構造などを背景に個性溢れる「独自性」を誇る地域が集積していますが、その「独自性」をまちづくり、地域づくりに活かしていません。

これらの状況を踏まえ、平成20年度は特に次の事業について重点的に推進していきます。

## ・幹線道路ネットワークの整備

国際物流に対応した道路ネットワークの構築や、産業の立地・振興、高度医療施設へのアクセス向上など経済と暮らしを支える幹線道路ネットワークの整備を推進します。

## ・スーパー中枢港湾プロジェクトの推進

世界トップクラスのコスト・スピード・サービス水準を実現するため、神戸港、大阪港に整備を進めている大水深岸壁(-16m)の整備や、港湾内から背後地域への円滑な物流を確保するための大阪港夢洲トンネルの整備など、国際競争力の強化に向けた取り組みを推進します。

## ・風水害、地震などの防災・減災対策の強化

台風や梅雨前線などに伴う集中豪雨による河川の氾濫や土砂災害を防止・軽減するための対策を強力に推進します。さらに都市部においては、洪水による水害を未然に防止するため、市街地整備と一体となった高規格堤防整備事業を推進します。

また、切迫する東南海・南海地震など大規模地震から被害の最小化を図るため、津波対策、住宅・建築物の耐震改修及び基幹的広域防災拠点の整備などの対策を推進します。

## ・社会資本の戦略的維持管理

既存の社会資本が順次、老朽化し、維持管理・更新投資が拡大していくと見込まれる中、その本来の役割を果たし続けることができるよう戦略的な維持管理を推進します。

## ・国際競争力の高い魅力ある観光地の形成

長い歴史の中で築かれてきた近畿の文化・風土を守り、継承しつつ、国際競争力の高い魅力ある観光地の形成を図るため、歴史・文化資産を活かしたまちづくりや公園づくりを推進します。

## 2. 新規要求箇所

- . 公園事業
  - 国営平城宮跡歴史公園(仮称)の整備 ..... P.4
- . 港湾事業
  - 堺泉北港 堺2区 基幹的広域防災拠点の整備 ..... P.24
- . 海岸事業
  - 和歌山下津港海岸(海南地区)津波浸水対策の整備・・ P.25
- . 官庁営繕
  - 大津地方合同庁舎の整備 ..... P.27
  - 武生地方合同庁舎の整備 ..... P.27

## 3. 完了(供用)事業

- . 河川事業
  - 足羽川激甚災害対策特別緊急事業(補助事業) ..... P.12
  - 寺畑前川床上浸水対策特別緊急事業(補助事業) ... P.12
- . 道路事業
  - 平成20年度 主な開通予定箇所 ..... P.18

## 4.平成20年度 予算概算要求のポイント

### 都市・住宅関係予算

### 【新規事業】

#### 国営平城宮跡歴史公園(仮称)の整備

世界遺産に登録されている特別史跡平城宮跡について、平成20年度より新たな国営公園として事業化し、文化庁との連携を図りながら、往時の建物の一部を復元的に整備するとともに、本格的な律令国家体制が形成された時代の都城の歴史と文化にふれあい、学び、体験するための整備・管理を行い、我が国の貴重な歴史・文化資産を将来に継承する公園づくりを進めます。

- 1)位置:奈良県奈良市
- 2)面積:約140ha
- 3)特色:平城宮跡は、文化財保護の観点から、公有地化、発掘調査・研究、朱雀門等の建物復原を含む各種整備が行われてきており、他に類を見ない貴重な歴史・文化資産となっている。これらを活かしつつ、国営公園事業によって環境整備・管理を推進し、我が国を代表する歴史・文化資産の一層の保存・活用を図るものです。

【位置】



【平城宮跡の概要】



## 地域の活性化・都市再生に向けた取り組み

### 地域の創意工夫を活かしたまちづくり・すまいづくりの推進

地域の歴史・文化・自然環境等の特性を活かした個性あふれるまちづくり・すまいづくりを実施し、地域住民の生活の質の向上と地域経済・社会の活性化を目指します。

近畿管内では現在、まちづくり交付金により176地区(H19)、地域住宅交付金により73計画(H19)を支援しています。平成20年度も継続して要望します。

宝塚中心市街地地区(兵庫県宝塚市)では、まちづくり交付金を活用し、「産官学民」の多様な主体の連携によるまちづくり活動の支援を行うとともに、平成20年度秋オープンを目標に「宝塚音楽学校旧校舎」を活用した文化観光交流拠点の改築工事等を行っています。

大阪府では、地域住宅交付金を活用し、民間事業者の活力を活用した府営住宅の建て替えを行うとともに、民間住宅や地域の活性化に資する施設等の整備を行うことで、府営住宅ストックの円滑な更新と地域のまちづくりを行います。

### まちづくり交付金(宝塚中心市街地地区)

[H20年度予定]旧校舎の改築工事等

#### 既存建造物活用



宝塚音楽学校旧校舎は、集客力のある文化観光交流拠点として、平成20年度秋のオープンを目指します。

#### まちづくり活動推進



産官学民が連携して、宝塚市を活性化させるための様々なまちづくり活動に対する支援を行う。

### 地域住宅交付金(大阪府営苅田民活プロジェクト)

[H20年度予定]住宅工事着手

#### 現況



#### 完成イメージ図



既存公営住宅を撤去し、事業敷地内において、新たな府営住宅(248戸)の整備及び民間の分譲集合住宅(143戸)の整備等を行う。

# 地域の活性化・都市再生に向けた取り組み

## 都市再生の核となる拠点整備の推進

行政・経済・文化等の多彩な都市機能が集積する各都市の都心部において、近年のモータリゼーションの進展と、それに伴う交通渋滞と中心商業機能の低下、中心市街地での居住人口の減少により、都心部の活力が低下しています。都市魅力の創出に向けて、都市基盤施設の整備を行い、国際・地域産業の集積を支援し、都市再生の拠点形成を目指します。

JR福井駅周辺では、連続立体交差事業を核に各種事業により都市基盤整備等を行い、都市交通の円滑化、交通結節点への都市機能の集中、快適な都市空間の創出等を行っています。平成20年度は、えちぜん鉄道の高架本体工事を着手します。

### JR福井駅周辺



近畿管内で、駅を中心に総合的な拠点整備を行っている事例として、JR福井駅、JR米原駅、JR福知山駅、JR姫路駅、JR奈良駅、阪急淡路駅 などがあります。

【H20年度予定】

福井駅周辺：えちぜん鉄道高架本体工事着手  
福知山駅周辺：北近畿タンゴ鉄道高架切替  
姫路駅周辺：姫新線・播但線の高架切替

「開かずの踏切」等による交通渋滞や踏切事故の解消のため、都市を分断する踏切対策が急務となっています。

平成20年度も継続し、踏切部の道路拡幅や歩行者横断施設の設置、連続立体交差事業の実施を推進します。



従前

JR北陸本線清川踏切 (福井市)の事例



## 災害に強い国土の形成

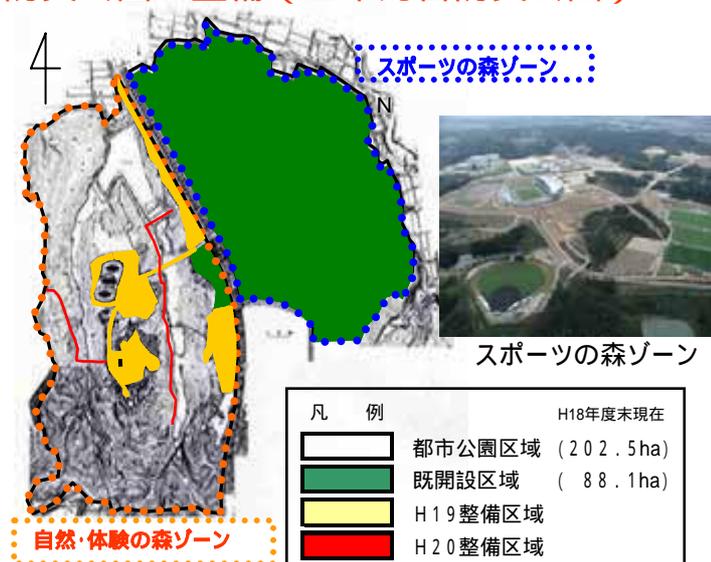
東南海・南海地震などの地震が発生した場合でも、国民の安全と安心の確保の観点から、都市や住まいの防災機能の向上を推進します。

近畿管内の都市公園事業の48事業(H19)について、地域の復興拠点、避難地等として、防災機能の整備を実施しています。平成20年度も継続して要望します。

兵庫県では、災害時活用上、食料物資の備蓄、災害対策要員の集結・宿営、救援物資の集積、配送機能を担う三木総合防災公園の整備を実施しています。平成20年度は、自然・体験の森ゾーンの県民参加活動の為に拠点施設及び園路整備を実施します。

住宅・建築物の地震の際の倒壊等による被害の軽減を目的に、戸建住宅やマンションの耐震診断、耐震改修等の実施を支援しています。平成20年度も継続して要望します。

### 防災公園の整備（三木総合防災公園）



### 戸建住宅・マンションの耐震化



住まいの耐震化の講習会の実施

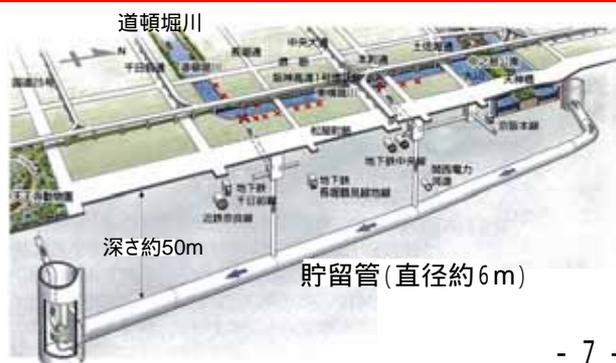
耐震改修事例  
(引違窓付木製筋かい設置)

## 美しい水環境の整備・水質改善の推進

汚水と雨水を同一の管渠で排除する合流式下水道では、雨の強さが一定の水準を超えると、雨水吐から未処理水が河川等に流出し、水質汚濁の原因の一つとなっています。

近畿管内では、38都市で合流式下水道を採用しており、緊急的な対策が必要です。

大阪市では、道頓堀川・東横堀川の水質改善のため、平成22年度の完成を目指し、平成20年度は、貯留管の設置、伏せ越し改良等の整備を行います。



道頓堀川の水質向上による潤いと憩いの場を実現

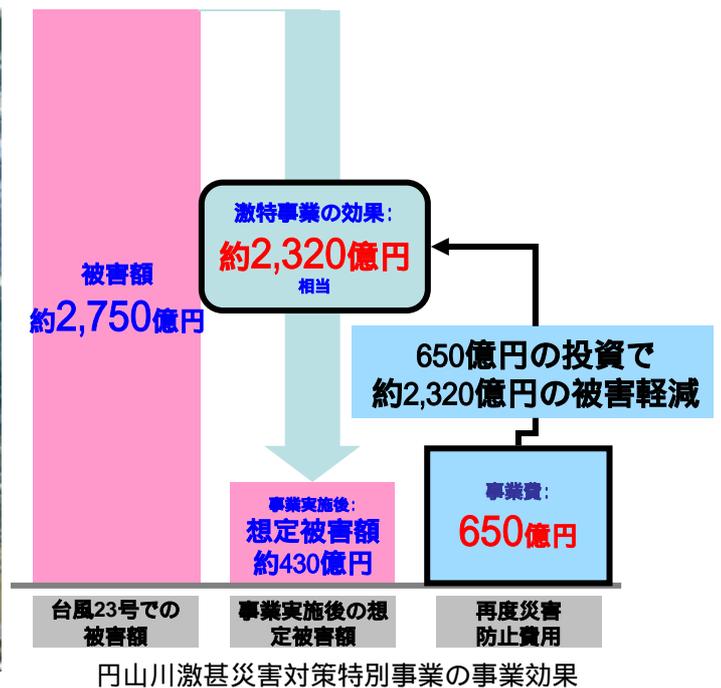
# 治水関係予算

## 河川激甚災害対策特別緊急事業・由良川下流部緊急水防災対策

平成16年10月の台風23号により甚大な被害が発生した円山川、大手川、加古川、洲本川の再度災害防止を目的として平成21年度を目標に河川激甚災害対策特別緊急事業の完成を目指します。また、同洪水で被災した由良川については、地域と連携を図りつつ水防災対策を平成26年度を目標に推進します。



円山川浸水状況(平成16年10月)



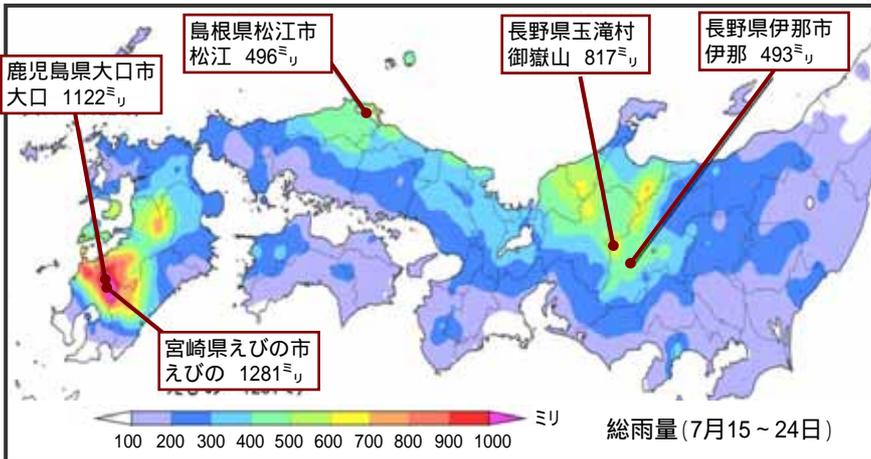
円山川激甚災害対策特別事業の事業効果

河川名	事業内容	平成19年度までの進捗状況	平成20年度の整備予定	解消床上浸水家屋数(戸)
円山川激特事業 (直轄)	河道掘削、橋梁・堰改築、堤防整備、内水対策	約54%	河道掘削、橋梁・堰改築、堤防整備、内水対策	約4,500戸
大手川激特事業 (補助:京都府)	河道掘削、橋梁改築、堤防整備	約71%	河道掘削、橋梁改築、堤防整備	約1,500戸
加古川激特事業 (補助:兵庫県)	河道掘削、橋梁改築、堤防整備	約60%	河道掘削、橋梁改築、堤防整備	約1,000戸
洲本川激特事業 (補助:兵庫県)	河道掘削、橋梁改築、堤防整備	約59%	橋梁改築、堤防整備	約2,700戸
由良川下流部緊急水防災対策(直轄)	17地区輪中堤、宅地嵩上げ	約23%	福知山市の河守、千原・尾藤、北有路、南有路地区、舞鶴市の水間、志高地区等における輪中堤整備	約950戸

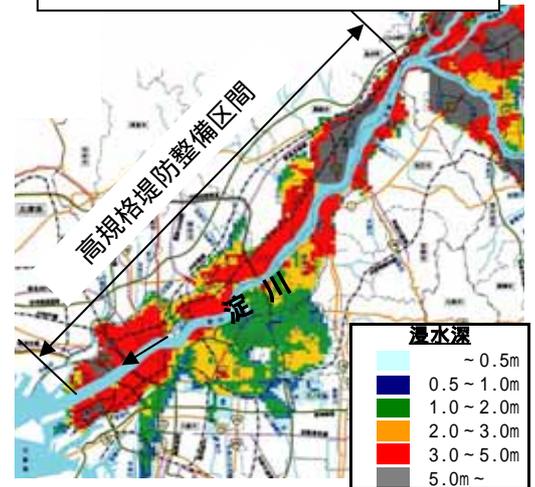
# 高規格堤防整備

人口・資産が高度に集積した大都市において、洪水時の堤防の決壊による壊滅的被害を未然に防ぐため、市街地整備と一体となった高規格堤防整備事業(スーパー堤防整備事業)を推進します。

特に、都市再生プロジェクト関連の大和川線地区、淀川左岸線の海老江地区、また、高見地区等において、重点的に高規格堤防整備を推進し、水害に強いまちづくりとともに新たな環状道路との一体整備を図ります。



整備率 (H19年度整備予定地区含む)  
淀川 7.1%、大和川 16.3%



枚方上流域に2日雨量約500mmが降った場合に想定される浸水想定区域図。浸水想定家屋数は約56万戸に及ぶ

**平成18年7月豪雨の例**  
総降雨量1000mmを超える異常な降雨が発生

# 堤防強化対策

既存堤防の安全を確保するため、平成14年度から浸透に対する堤防の安全性の詳細点検を実施しています。堤防詳細点検延長約735kmの内、約646kmの点検が完了。

点検済みの約646kmの内、約232km(約35%)堤防補強が必要。

堤防補強必要区間の内、約30kmの対策が完了。(H19年度予定箇所含む)

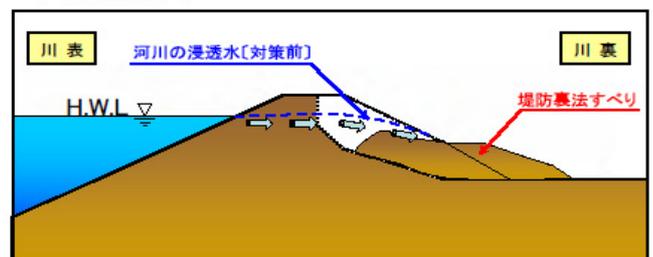
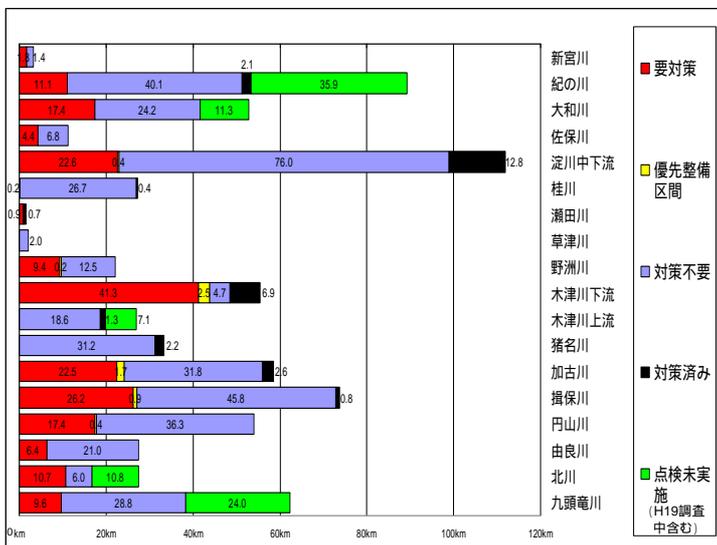
今後、堤防の裏法すべりの安全度が低かつ被災履歴のある6.1kmを優先的に対策を実施します。

# 堤防の被災形態と水防活動の対応

危険度	被災形態	危険な時の水位	水防活動
大	堤防裏法すべり	上昇中~ピーク時	水防活動困難 短期復旧困難
	パイピング	上昇中~ピーク時	水防活動で対応可
小	堤防表法すべり	水位低下時	短期復旧可能

# 過去の洪水で被災履歴のある堤防

被災履歴のある箇所は再度被災箇所も多い。



# ダム建設事業

## 大滝ダム（紀の川水系紀の川）

紀の川沿川地域の水害を軽減するための洪水調節、水道用水および工業用水の供給、河川の本来持っている機能の維持、水力発電を目的として平成24年度完成に向けて事業を実施しています。

平成20年度は、白屋地区地すべり対策工事の完了を図ります。また、新たに大滝地区および迫地区の地すべり対策を実施します。

## 紀の川大堰（紀の川水系紀の川）

既設の新六ヶ井堰（固定堰）の可動堰改築、河道の掘削、新たな水道用水の確保、既得用水の安定取水、流水の正常な機能の維持と増進などを目的として平成21年度完成に向けて事業を実施しています。（平成15年度から暫定運用開始）。

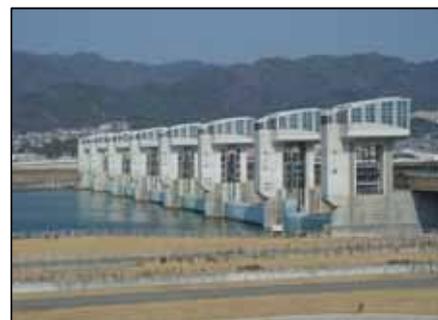
平成20年度は、JR阪和線橋梁の架替工事、河道掘削等を引き続き実施します。



大滝ダム・紀の川大堰位置図



大滝ダム本体



紀の川大堰本体

## 足羽川ダム（九頭竜川水系部子川）

洪水調節専用（流水型）のダムとして計画しています。施設整備としてはダム本体と併せて他流域の4河川の洪水を導水するための分水施設および導水路を整備するものです。

平成20年度は、環境影響評価に必要な調査及び補償基準提示に向けての調査等を実施します。



足羽川ダム位置図



足羽川ダム計画図

赤字：先行整備分

青字：将来整備分

## 六甲山系における砂防施設の整備

六甲山系砂防事業では、六甲山からの土砂流出をコントロールし、これら人口と資産の集中した都市域を土砂災害から保全することを目的に実施しています。

平成20年度は、災害時要援護者施設や重要交通ネットワークを保全する砂防施設を中心に整備を実施します。また、既設砂防施設の補強、補修などによる機能の追加、延命などに関する整備を進めます。

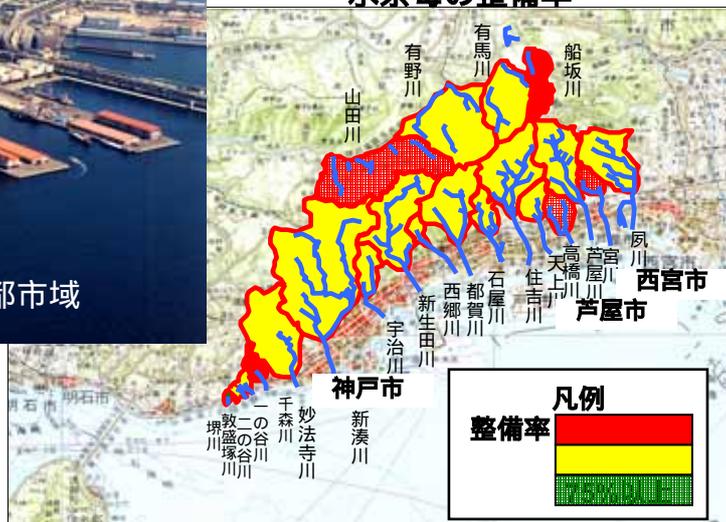


山麓部に近接した都市域

六甲山系での、整備済み土砂量の割合は、

約57%

### 水系毎の整備率



### 整備予定の砂防施設例

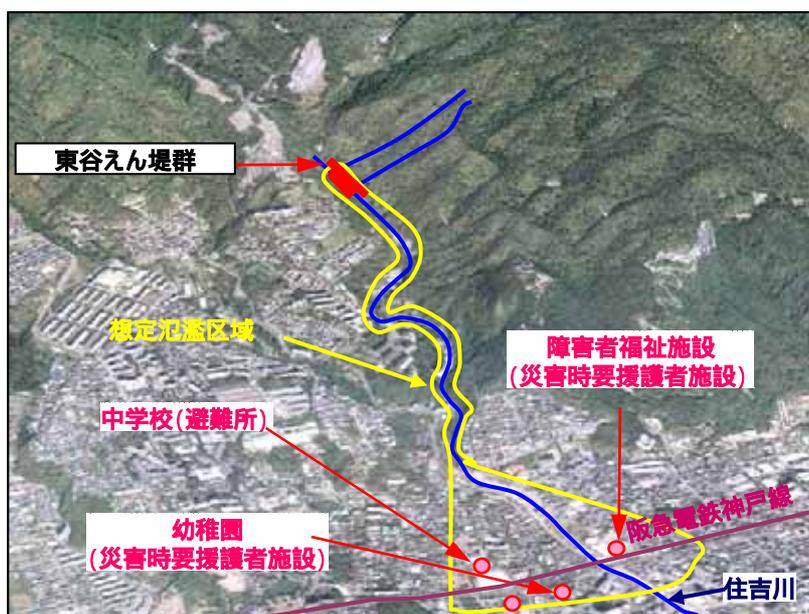
東谷えん堤群 (H22完成予定)

保全対象：

- 避難所 (1箇所)
- 災害時要援護者施設 (3箇所)
- 人家 (1,185戸)
- 阪急電鉄神戸線



養護老人ホーム

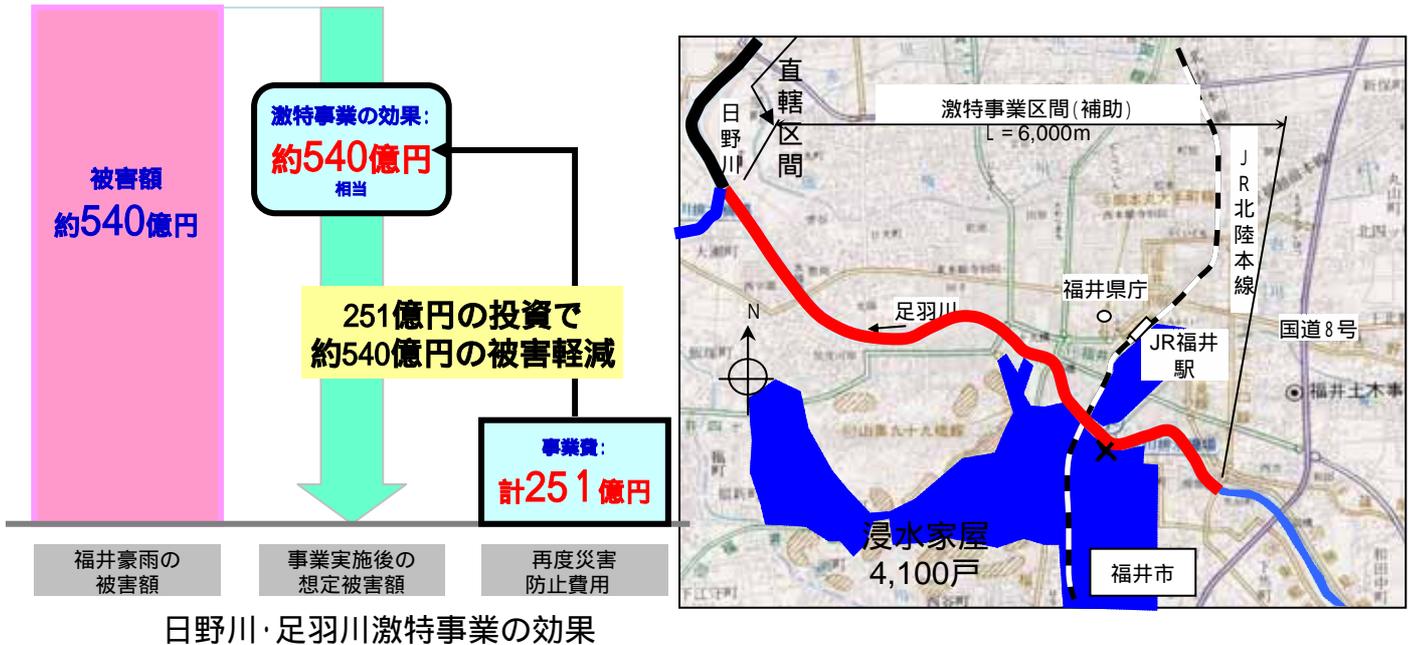


老人ホーム、特別養護老人ホーム等  
(災害時要援護者施設)

## 【完成予定箇所】

### 足羽川激甚災害対策特別緊急事業(補助事業:福井県)

足羽川では、平成16年7月に発生した福井豪雨により約4100戸の浸水被害が発生。この災害を受け、足羽川(補助)と日野川(直轄)では、同規模の洪水による再度災害防止を目的に河川激甚災害対策特別緊急事業が採択され、河道掘削等を実施してきました。平成19年度には、日野川(直轄)の対策が完了し、平成20年度は、足羽川の対策が完了します。



### 寺畑前川床上浸水対策特別緊急事業(補助事業:兵庫県)

昭和40年代後半から始まった流域内の急激な市街化により、近年の短時間集中豪雨では度々浸水被害が発生しています。特に、平成9年には短期間に2度の床上浸水が発生しました。そのため、平成11年度より調節池(約19,400m<sup>3</sup>)の整備を実施し、平成20年度に完成します。この調節池の整備により、浸水被害の常襲地域である川西市の密集市街地の約300戸の浸水被害が解消します。



# 道路関係予算

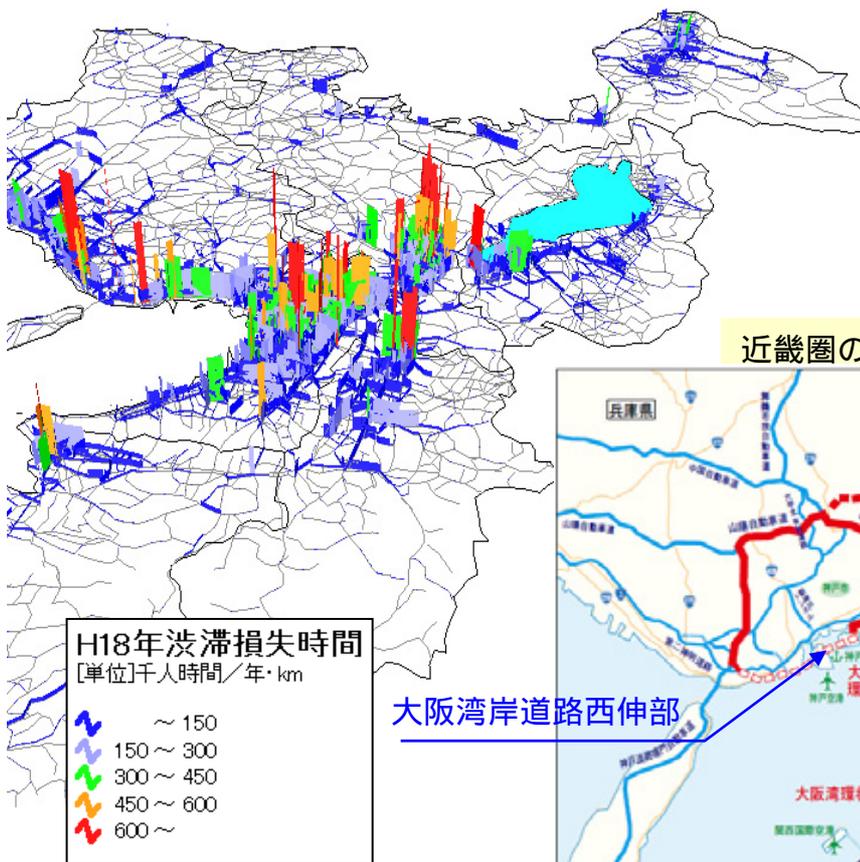
## 幹線道路ネットワークの形成

近畿圏の渋滞損失時間は、全国の約2割で、関東に続き全国でワースト2位となっています。特に、京阪神都市圏を中心に渋滞が著しく、京阪都市間を連絡する第二京阪道路や京奈和自動車道等で構成する環状道路の整備を推進しています。

近畿圏の環状道路は、整備率約6割で、ネットワークがつながっていません。

平成20年度は、平成21年度供用を目指して第二京阪道路の事業を推進するとともに、京奈和自動車道の整備、大和北道路、大阪湾岸道路西伸部の都市計画決定に向けて調査を推進していきます。

近畿の渋滞損失時間は全国の2割(約3.8億人時間/年)で、関東に続き全国でワースト2位  
特に、京阪神都市圏の渋滞が著しい



近畿圏の環状道路整備率は約6割



平成20年度 事業内容  
環状道路等の整備推進

- ・大阪湾岸線西伸部 都市計画決定に向け調査推進
- ・京奈和自動車道 大和北道路:都市計画決定に向け調査推進  
大和御所道路、紀北東道路、紀北西道路:事業推進

# 幹線道路網ネットワークの形成

平成20年度 事業内容

- ・一般国道1号 第二京阪道路(枚方市～門真市) L = 16.9km 平成21年度供用にむけて事業推進

交通渋滞の著しい一般国道1号  
(寝屋川市点野)



整備が進む第二京阪道路  
寝屋川市寝屋地区 撮影平成19年5月



# 自立した活力ある地域づくり

・地方部では、少子高齢化が進み、医療、買い物等の日常生活を支える連携・交流基盤の整備が必要となっています。

・平成20年度は、福井県奥越地域の緊急医療等支える一般国道158号 中部縦貫自動車道 永平寺大野道路、異常気象時の通行止めが頻繁に発生している和歌山県北山村の一般国道169号奥瀬道路の事業を推進し、平成20年度に一部供用を図ります。

地方部の緊急医療、日常生活を支える連携・交流基盤の整備  
福井県奥越地方

- ・お産を扱う医療機関へ30分以上かかる箇所が存在
- ・通院搬送時間の短縮が課題

【分娩可能な病院への搬送時間圏域】

- 分娩可能施設まで30分までの圏域
- 分娩可能施設まで30分以上かかる圏域



和歌山県北山村

- ・国道169号の奥瀬道路区間には、異常気象時通行規制区間が3箇所(16.4km)
- ・通行止回数は過去3年間で、災害が6回延べ19日間、事前通行止めが4回延べ4日間
- ・日常生活を支える災害に強い道路が必要

奥瀬道路・奥瀬道路(二期)

交通途絶時の迂回ルート(北山村～新宮方面)  
【例：平成16年10月8日の規制】



幅員が狭隘な169号  
(熊野川町玉置口)



通常時 : 65.5分(45.6km)  
途絶時 : 124.7分(46.2km)

凡例	
<span style="color:blue">—</span>	通常時のルート
<span style="color:pink">—</span>	途絶時の迂回ルート
<span style="color:red">- - -</span>	奥瀬道路・奥瀬道路(二期)

平成20年度 事業内容

- ・一般国道158号 中部縦貫自動車道 永平寺大野道路(永平寺町～勝山市)  
L = 7.9 km 平成20年度供用にむけて事業推進
- ・一般国道169号 奥瀬道路(新宮市熊野川町)  
L = 2.2 km 平成20年度供用にむけて事業推進

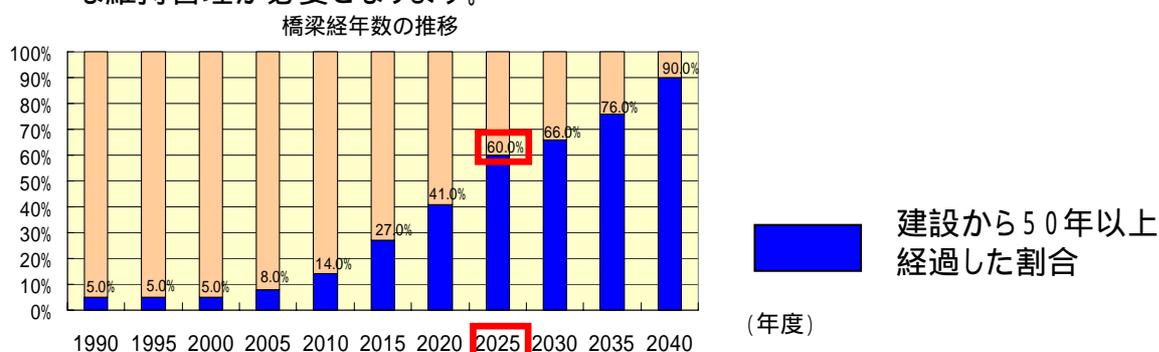
# 高齢化する橋梁、予防的補修による延命化

## 高齢化する橋梁

- ・近畿地方の橋梁は、万国博覧会及び花と緑の博覧会の開催前後に集中して建設され、20年後には、近畿地方の約6割の橋梁が建設後50年以上を迎えることとなり、計画的な維持管理が必要となります。
- ・橋梁点検において、平成18年度に奈良県名阪国道山添橋で橋梁主桁に亀裂、平成19年度に滋賀県国道1号白川橋で、橋梁垂直部材に亀裂が発見されました。
- ・平成20年度は、橋梁定期点検結果に基づき、計画的に橋梁補修を行っていきます。

## 高齢化する近畿地方の橋梁

- 1) 20年後には、近畿地方の約6割の橋梁が建設後50年以上を迎えることになり、計画的な維持管理が必要となります。



- 2) 橋梁点検で損傷箇所が発見され、緊急点検と応急復旧のために交通規制を伴い周辺地域に多大な影響を与えました。

### 【名阪国道 山添橋】



亀裂

### 山添橋の規制に伴い

・針IC付近で最大約6kmの渋滞が発生



・国道24号(奈良市)や国道165号(榛原町)等の周辺地域でも渋滞が発生

### 【国道1号 白川橋】



アーチ端支柱部材、  
腐食による損傷



## 平成20年度 事業内容

- こやのさと
- ・一般国道171号 昆陽里高架橋橋梁補修 (兵庫県伊丹市寺本地先)

# 二輪車事故が多い近畿地方、交通事故対策

## 二輪車事故が多い近畿地方

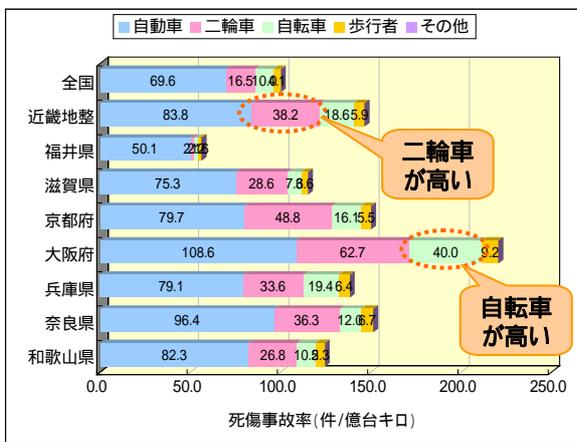
近畿地方の事故の特徴として二輪車事故が全国値より高く、近畿管内当事者別死傷者事故率のデータより、二輪車の死傷事故率は全国値の約2.3倍、自転車の死傷事故率は全国値の約1.8倍となっています。

平成20年度は、滋賀県大津市における歩道整備事業の完了を目指します

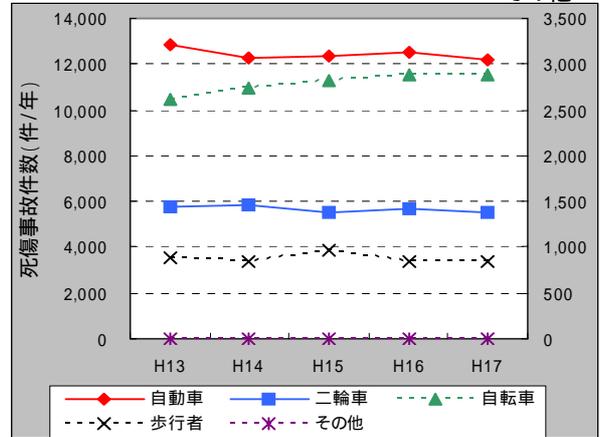
## 二輪車事故が多い近畿地方

- 1) 近畿地方整備局管内の二輪車の死傷事故率は38.2件/億台キロと全国の16.5件/億台キロの約2.3倍と高く死傷事故件数は横ばい状態です。
- 2) 自転車の死傷事故率についても18.65件/億台キロと全国の10.4件/億台キロの約1.8倍と高く、死傷事故件数は増加傾向にあります。

### 【県別の当事者別死傷事故率】



### 【当事者別死傷事故件数】



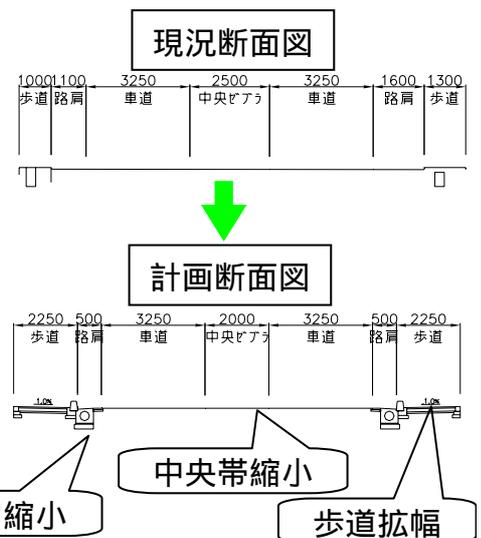
## 二輪車事故対策

- 1) 大津市石山・膳所地区においては、事故件数655件/4年間であり、そのうち431件(66%)が自動車と二輪車との事故であり、対策が必要となっています。
- 2) 対策として、路肩幅員を狭くし、二輪車と四輪車との併走を防止し、走行速度をさげることで事故を抑制します。



路肩が広く二輪のすり抜けが多い

歩道を広くして路肩のすり抜けをなくす



## 平成20年度 事業内容

・一般国道1号 石山・膳所地区歩道整備事業

(滋賀県大津市粟津町～大津市竜が丘地先)

## 平成20年度 主な開通予定箇所

中部縦貫自動車道永平寺大野道路(福井県吉田郡永平寺町から同県勝山市鹿谷町)をはじめ、近畿管内で直轄事業10箇所(延長約23km)補助事業3箇所(延長約6km)が平成20年度に開通予定。

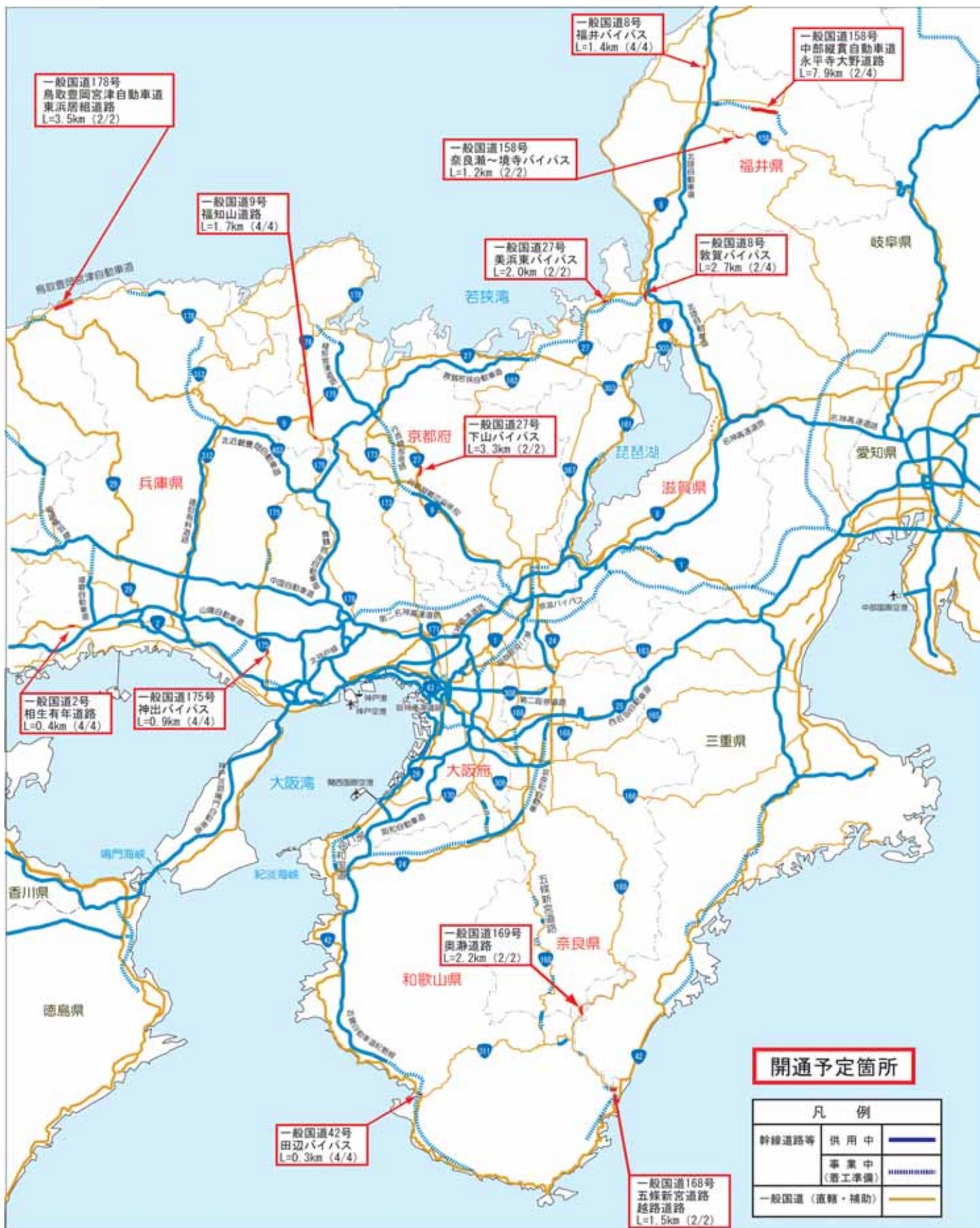
### 【直轄事業】

路線名	箇所名	供 用 予 定			
		区 間	車線数	延長(m)	
一般国道158号	中部縦貫自動車道 永平寺大野道路	永平寺町大月	～ 勝山市鹿谷町志田	2 / 4	7,900
一般国道8号	敦賀バイパス	敦賀市坂下	～ 敦賀市小河口	2 / 4	2,700
一般国道27号	美浜東バイパス	三方郡美浜町山上	～ 三方郡美浜町佐柿	2 / 2	2,000
一般国道42号	田辺バイパス	西牟婁郡上富田町峠	～ 西牟婁郡上富田町峠	4 / 4	300
一般国道175号	神出バイパス	神戸市西区神出町小束野	～ 神戸市西区神出町小束野	4 / 4	900
一般国道9号	福知山道路	福知山市岡	～ 福知山市羽合	4 / 4	1,700
一般国道27号	下山バイパス	船井郡京丹波町下山	～ 船井郡京丹波町富田	2 / 2	3,300
一般国道8号	福井バイパス	坂井市丸岡町玄女	～ 坂井市丸岡町朝陽	4 / 4	1,400
一般国道2号	相生有年道路	相生市若狭野町鶴亀	～ 相生市若狭野町上松	4 / 4	400
一般国道169号	奥瀬道路	新宮市熊野川町玉置口	～ 新宮市熊野川町玉置口	2 / 2	2,200

### 【補助事業】

路線名	箇所名	供 用 予 定			
		区 間	車線数	延長(m)	
一般国道158号	奈良瀬～境寺バイパス	福井市小和清水町	～ 福井市朝谷町	2 / 2	1,200
一般国道178号	東浜居組道路	美方郡新温泉町居組	～ 鳥取県岩美郡岩美町陸上	2 / 2	3,500
一般国道168号	越路道路	新宮市五新	～ 新宮市南松杖	2 / 2	1,500

# 平成20年度 開通予定箇所図

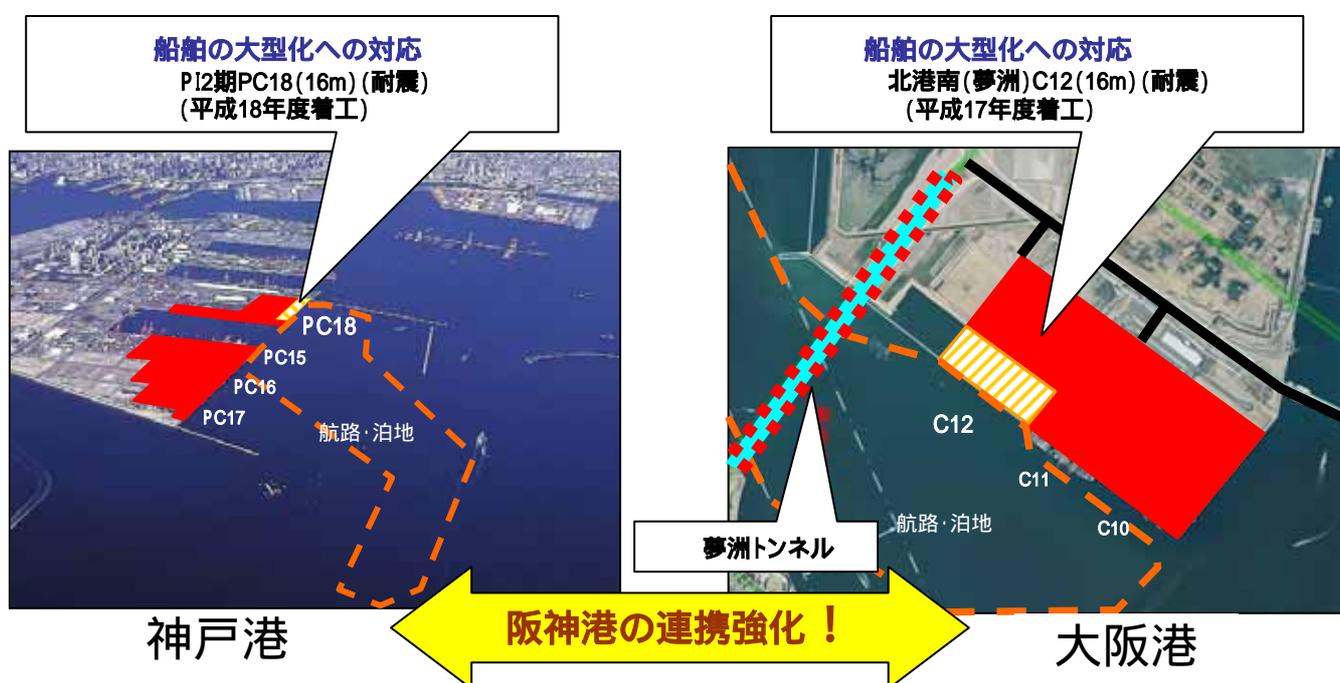


## 港湾空港関係予算

### 阪神港スーパー中枢港湾プロジェクトの推進

平成17年6月に設置された国際物流戦略チームの取り組みの一環として、スーパー中枢港湾に指定された神戸港・大阪港において、世界トップクラスのコスト・スピード・サービス水準を実現するため、神戸港・大阪港において大水深岸壁(水深16m)を備えた高規格コンテナターミナルの整備を進めるとともに、両港の連携強化に向けた支援や24時間フルオープン化に向けた支援を行うなど、スーパー中枢港湾プロジェクトの推進に取り組みます。

また、海上物流ネットワークと陸域交通網との有機的な連携により、効率的な物流体系を形成するとともに、港湾内及び港湾から背後地域への円滑な物流の確保や交通渋滞の解消を図ることを目的に、大阪港において、夢洲～咲洲を結ぶ臨港道路(夢洲トンネル)の整備促進を図ります。



#### 《スーパー中枢港湾プロジェクトの事業効果》

- 目 標 - 世界トップクラスのコスト・スピード・サービスの実現 -
- ・ 港湾コスト ; 現状より約3割低減を目指します。
  - ・ リードタイム ; 現状2日を1日程度まで短縮(シンガポール港と同レベル)。

#### (平成20年度実施予定)

神戸港・大阪港において、岸壁(水深16m)の上部工、舗装等を行い岸壁本体の完成を目指します。また、航路・泊地の浚渫を引き続き行います。

夢洲トンネルにおいては、道路本体の概成を目指します。

#### 国際物流戦略チームの取り組み

スーパー中枢港湾「阪神港」、関西国際空港、広域幹線道路等の物流体系の広域的な連携の強化を図り、国際物流のより一層の効率化を実現することにより、関西経済の活性化を目指す。そのため、産学官が一体となって各種方策に取り組んでいる。

- ・ 各港連携による入港料の低減(H19.4実施)
- ・ 大阪湾諸港の一開港化実現によるトン税等の低減(H19.12目標)



# 大阪湾ゼロメートル地帯等における緊急津波・高潮対策事業の推進

逼迫する大規模地震・津波災害や昨今頻発している深刻な高潮災害等に対して、国民の安全・安心を確保するための海岸整備を最重要課題とし、大阪湾ゼロメートル地帯や地震防災対策推進地域等において緊急津波・高潮事業を推進します。

## 【大阪湾ゼロメートル地帯等における高潮対策】

平成16年に我が国で多発した台風被害や平成17年8月にアメリカを襲ったハリケーン・カトリーナなどに見られるように、地盤高さの低い、いわゆるゼロメートル地帯における大規模浸水被害の危険性が懸念されています。

我が国の中枢機能が集積する大阪湾ゼロメートル地帯及びその周辺部において、大規模な浸水被害を最小化するための護岸、防潮堤、排水機場等の整備を推進します。



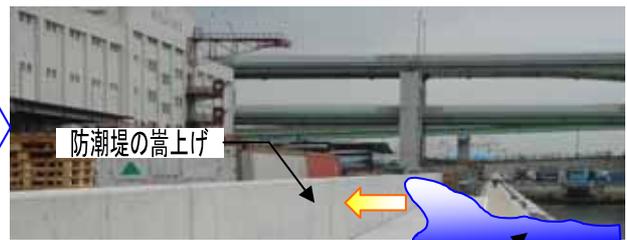
【台風18号(H16)による高潮被害】(神戸市)

整備前(防潮堤)



高潮による越流(イメージ)

整備後(防潮堤)



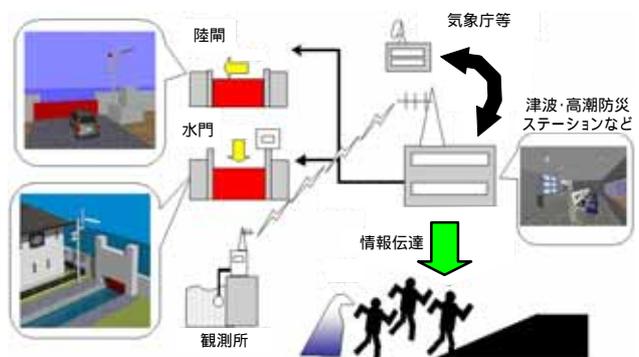
高潮からの防護(イメージ)

【防潮堤整備状況(海岸事業)】(神戸港海岸新港地区)

## 【地震防災対策推進地域等における地震・津波対策の推進】

逼迫する大規模地震・津波や頻発する高潮から、人命や財産を守り、安全・安心を確保するためにはソフト・ハードの一体的かつ緊急的な整備が求められています。

「津波・高潮危機管理対策緊急事業」により人命の優先的防護を目的として、堤防護岸の破堤防止、水門・陸閘等の自動・遠隔化、津波・高潮防災ステーションの整備などとともに、地域におけるハザードマップの作成支援や避難対策などソフト・ハードの一体的な整備を推進します。



【津波・高潮防災ステーションイメージ】

また、「海岸耐震対策緊急事業」により、既存施設の補強・改良等を行い、大規模地震発生後も防護機能を損なわない津波防護施設の整備を推進します。

## 海洋環境整備事業の推進(瀬戸内海)

瀬戸内海における航行船舶の安全の確保、海洋の汚染の防除、良質な海洋環境保全を積極的に行うため、大阪湾・紀伊水道・播磨灘5,900km<sup>2</sup>で海面の浮遊ごみ・浮遊油の回収業務を実施します。

### 〈概要〉

管内の2基地(神戸港、和歌山下津港)に海洋環境整備船3隻(海面清掃兼油回収船2隻、海面清掃船1隻)を配置し、海面の浮遊ごみ・浮遊油の回収業務を実施します。(事業期間: S49~)

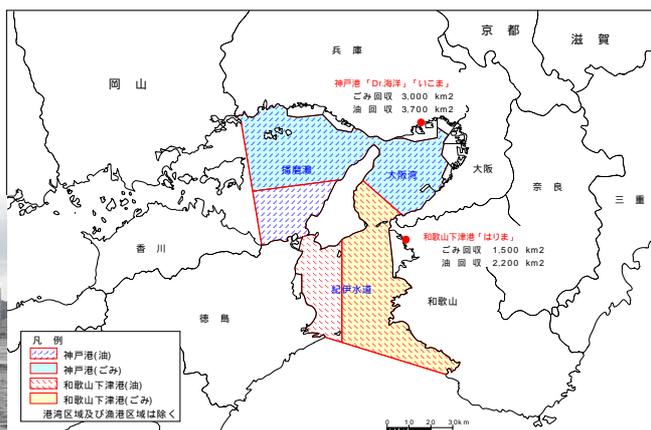
### 担務海域

瀬戸内海(大阪湾・紀伊水道・播磨灘のうち、港湾区域、漁港区域は除く)



流木の回収状況

海面清掃兼油回収船(Dr. 海洋)



海洋環境整備事業 担務海域図

## フェニックス事業の推進(大阪湾)

大都市圏を中心に、内陸部での廃棄物処分場を確保することがますます困難となっているため、廃棄物の減量化、再利用の促進を前提に、廃棄物海面処分場の整備を推進します。

### 〈概要〉

大阪湾において環境省と連携して、近畿2府4県の175市町村から発生する廃棄物を処分する海面埋立処分場の整備を推進します。(事業期間: S61~)

〔H20年度実施予定〕引き続き各処分場の整備を進めますが、特に大阪沖埋立処分場においては、平成20年度からの廃棄物の受入を目指して護岸の整備を行います。

〔事業の効果〕大阪湾フェニックス計画を推進することにより、長期的安定的に廃棄物を適正に処理し、大阪湾圏域の生活環境の保全を図るとともに、造られた土地については港湾施設の用地等として有効に活用されます。



〔処分場の規模〕

整備場所	処分場面積	廃棄物受入量	
大阪湾	尼崎沖	113ha	1,600万m <sup>3</sup>
	泉大津沖	203ha	3,100万m <sup>3</sup>
	神戸沖	88ha	1,500万m <sup>3</sup>
	大阪沖	95ha	1,400万m <sup>3</sup>
計	499ha	7,600万m <sup>3</sup>	



大規模地震対策の推進

堺泉北港 堺2区 基幹的広域防災拠点の整備

京阪神都市圏における防災性の高い安全・安心な都市空間の実現

逼迫する東南海・南海地震や直下型地震等の大規模地震災害に対する「備え」である基幹的広域防災拠点の早期整備により、国及び地方公共団体等の関係機関が協力し、的確・迅速な応急復旧活動を行うことにより、被害の最小化・早期の復旧・復興体制が確立され、安心・安全度が高まり、関西地域の信頼性が向上します。

今後30年以内に50～70%程度の確率で発生すると言われている東南海・南海地震や、これに伴い活動期に入ったとされる多くの活断層の存在など、巨大災害の発生が切迫しています。

関係省庁、府県市、有識者等により設置された「京阪神都市圏広域防災拠点整備協議会」において、基幹的広域防災拠点の整備について審議され、堺2区については海上からの応援受け入れ拠点として、早急に整備することが位置付けられました。

堺2区における基幹的広域防災拠点の主な機能は以下のとおりです。

- 救援物資の中継・分配基地機能
- 近接の耐震強化岸壁と一体となった緊急支援物資・支援要員の輸送機能
- 広域支援部隊の集結・ベースキャンプとしての機能
- 海・陸・空輸送支援機能

事業箇所 : 大阪府堺市

全体事業費 : 80億円

事業期間 : H20年度～H22年度

事業内容 : 基幹的広域防災拠点  
(緑地)  
臨港道路  
港湾広域防災支援施設

想定される主な被害

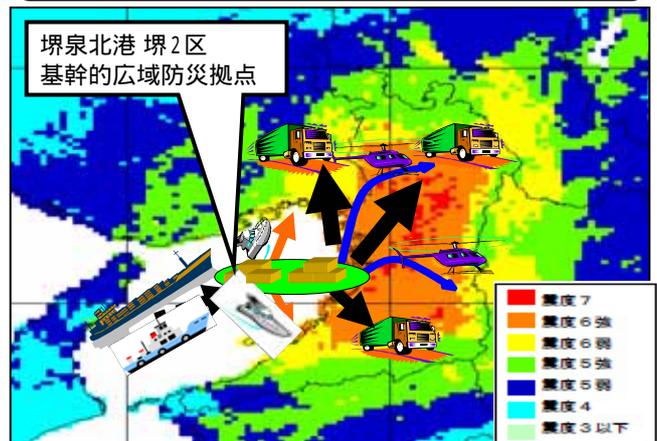
上町断層帯地震による被害想定  
死者数 約12,700人  
経済被害 約11.4兆円  
(平成18年10月大阪府調査より)

東南海・南海地震による被害想定  
死者数 約18,000人(冬の朝5時)  
経済被害 約5.7兆円(冬の夕方18時)  
(平成15年9月中央防災会議より)

基幹的広域防災拠点 整備位置図



緊急物資輸送イメージ(直下型地震の場合)



**和歌山下津港海岸(海南地区)津波浸水対策の整備**

**東南海・南海地震等に伴う大津波から、被害の最小化を図るため、災害に強い地域の再構築をめざします**

東南海・南海地震等に伴う津波により、海南地区は和歌山県下最大クラスの甚大な被害が予測されており、被災した場合には、人命や生活への深刻な被害が懸念されています。

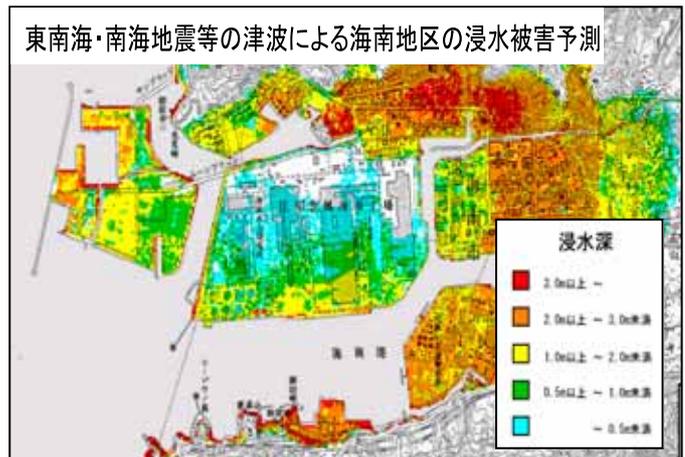
また、行政・防災中枢機能の消失や交通ネットワークの断絶による復興の長期化と併せて、沿岸部には鉄鋼、電力など多様な産業集積地が形成され、世界的シェアを誇る企業も立地していることから我が国のみならず世界経済への影響も懸念されています。

このため市民生活や企業活動にも配慮した最適な防護ラインによる津波浸水対策の整備を早期に実施し、被害の最小化を図り、災害に強い地域の再構築を進めます。

**①繰り返されてきた津波による被害**



**②発災時に想定される津波被害**



(近畿地方整備局)

**③最適な防護ラインによる津波浸水対策の事業概要**



**事業名**

和歌山下津港海岸  
直轄海岸保全施設整備事業

**事業箇所**

和歌山県海南市

**総事業費**

約260億円

**事業期間**

H20年度～H31年度

**事業内容**

護岸(改良)、防波堤(改良)、  
水門

## ・ 営繕関係予算

### 防災拠点施設となる既存庁舎等の耐震改修の推進

#### 既存庁舎等の耐震改修を推進

官庁施設の耐震診断結果等の公表(H18.8)を踏まえ、防災拠点でありながら、耐震性の基準を満足していない既存の庁舎等について、耐震改修を引き続き推進します。耐震化の促進については平成27年度末までに耐震化率9割の達成を目標としています。

#### < 継続事業 >

- ・大阪第2地方合同庁舎(免震改修工事)
- ・大阪港湾合同庁舎(免震改修工事) など



大阪第2地方合同庁舎



大阪港湾合同庁舎

### 地球温暖化対策としての既存庁舎等のグリーン改修の推進

#### 太陽光発電の導入及び建物緑化の推進

既存の合同庁舎等について、太陽光発電の導入や建物緑化が可能な施設に順次設置を推進します。また引き続き設備機器などの効率化等の環境負荷低減対策として改修工事(グリーン改修)を推進します。



太陽光発電設備



屋上緑化

## 防災拠点施設としての合同庁舎の整備

大津地方合同庁舎・武生地方合同庁舎の整備に着手

耐震性の基準を満足しない施設に入居している官署等を集約して、防災拠点施設としての合同庁舎の整備を推進します。

### 大津地方合同庁舎の整備

合同庁舎の計画予定地

滋賀県大津市

(JR大津駅前の大津法務総合庁舎付近)

建物規模 : 約20,000㎡

\* なお、民間のノウハウを活用するPFI方式による合同庁舎整備の検討・手続きを平成20年度までに実施する予定です。

### 武生地方合同庁舎の整備

合同庁舎の計画予定地

福井県越前市

(福井地方検察庁武生支部・区検察庁付近)

建物規模 : RC - 6 - 1 約6,900㎡